

# 令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

## 学校の概要

大阪市立茨田南小

学校

児童数

77

### 平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	14.51	14.85	30.88	30.59	40.24	9.58	136.10	20.86	47.63
大阪市	15.70	19.17	33.01	38.63	45.42	9.52	148.43	20.76	51.54
全国	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
女子	15.38	15.76	34.18	34.57	33.76	9.85	126.85	12.64	50.30
大阪市	15.40	18.33	37.58	36.86	35.15	9.83	139.41	12.67	52.58
全国	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97

### 結果の概要

体力合計点について、男子の平均は47.63点で大阪市の平均点より3.91点、全国の平均点より5.39点、女子の平均は50.30点で大阪市の平均より2.28点、全国の平均より3.67点と男女ともに大阪市平均、全国平均を下回った。ただし、女子は半数以上の児童が平均値を上回っている。

種目別の結果から、男子はソフトボール投げのみが大阪市平均を上回ることができた。女子は、すべての種目で大阪市平均を上回ることができなかったが、男子と比較して相対的にどの種目も大阪市平均に近い数字となっている。男女とも立ち幅とびについては大阪市平均より12点以上下回る結果となった。

質問項目「運動やスポーツをすることは好きですか」の肯定的回答は、男子は81.3%で大阪市平均より6.0%下回り、女子は79.0%で、大阪市平均より6.0%下回った。

1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合は、男子12.5%、女子は23.5%とほぼ大阪市平均と変わらない結果であるが、全くしていない児童の割合が男女ともに割合が高くなっている。

### これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

コロナ禍で制限を行いながらの活動が続き、運動場の活用が十分でなかったことに加え、コロナ禍後も校舎建て替え工事により、運動場の使用面積可能が半分以下になっていたため、体育科の授業や休み時間に十分な運動ができていない時期が長く続いた。

令和7年度は、全校児童の取り組みとして、なわとび週間、かけあし週間を計画・実施し、体力の向上に努めた。

今後の体力向上の取り組み内容としては、学期に1回体力アップ集会を計画し、コロナ禍で低下した体力を向上させていくようにしていく。体育科の授業の中で、持久性・柔軟性・瞬発性がより向上するように努め、児童の達成感や意欲を高める取り組みを多く取り入れて進めていく。